

## 海外事務所 主な活動報告（令和 7 年 8 月）

## 《ワシントン州事務所》

コロナ禍により中断していた、西脇市と姉妹提携先であるレントン市の相互訪問による中学生交流を6年ぶりに実現することとなった。当事務所は、本件交流に向けてレントン市側との調整のほか、当日の同行等の支援を行なった。8月15日～8月21日には、西脇市側の中学生12名がレントン市を訪問し、パートナーの自宅でのホームステイ、学校訪問、交流イベント等の活動が実施されたほか、レントン市役所訪問では、市長から中学生一人一人に記念品等が手渡された。

10月には、レントン市側の中学生が西脇市を訪問する予定となっている。当事務所としても、中学生交流をはじめ両市の友好関係が更に促進されるよう、引き続き支援を行なっていきたい。

## ＜西脇市中学生親善使節団員のワシントン州レントン市訪問＞

- 日 程：2025（R7）年8月18日（月）
- 場 所：レントン市内（レントン市役所、レントン学区等）
- 参 加 者：西脇市中学生親善使節団員、レントン市長等



レントン市長からの記念品贈呈の様子

## 《パリ事務所》

グローバルサウスとの経済交流推進の一環として、西アフリカ諸国の中でも民主主義と治安の安定度が高く、主要港湾を有する物流拠点であり、日本政府 ODA によるインフラ支援の下で農業・再エネ分野の産業育成が進められているベナン共和国において、現地経済事情を調査するとともに、日本のアニメ・文化の祭典「Subarachill（スバラシル）」に出展した。

本県ブースでは、若者を中心とする来場者に、パンフレットの配布による本県のアニメ関連施設をはじめとする観光地の PR や兵庫の日本酒の試飲を行った。

イベント名の「Subarachill（スバラシル）」は、「素晴らしい」と英語の若者言葉「Chill（くつろぐ）」を掛け合わせた造語。会場ではアニメグッズや日本食の物販コーナー、日本文化体験ブースを始めとした多彩なブースやプログラムが展開された。来場者は、開催地である経済首都コトヌー市内の富裕層の若者（10～20代）が中心であった。

## ＜「Subarachill 2025」への兵庫県ブース出展＞

- 日 程：2025（R7）年8月15日（金）～16日（土）
- 場 所：フランソワーズ・ガーデン  
（コトヌー市内イベント会場）
- 出 展 数：約 20 ブース
- 参 加 者：約 500 人  
（うち、兵庫県ブース 約 100 人）



日本酒の試飲の様子

## 《香港経済交流事務所》

8月15日から17日にかけて、シンガポール EXPO Hall にてシンガポール最大級の旅行博である NATAS が開催され、日本政府観光局（JNTO）のジャパンパビリオンに神戸観光局と共同でブースを出展した。また、姫路観光コンベンションビューローも隣のブースに出展し、3者で連携しながら観光地、グルメ、体験などのPRを行った。

来場者にPRを行う中で、最も関心が高かったのはグルメで、特に神戸ビーフに関する問い合わせが多かった。シンガポールでも神戸ビーフは浸透しており、最高級のものを味わいたいとの相談も多く、お勧めの飲食店を教えて欲しいとの問い合わせもあった。

また、来場者の多くは、既に訪日を計画しており、実際に具体的な店や観光スポットなどについて質問されるケースが多く、地図やひょうご観光本部作成のパンフレットなどを使い、移動時間やルートを含めて提案した。体験型アクティビティーについての問い合わせも多く、ひょうごフィールドパビリオンを紹介した。

シンガポールからの訪日旅行者数は、2024年（暦年）に約69万人（前年比17%増）と過去最高を記録している。この傾向は今年も続いており、7月末現在で約37万人（前年比13%増）となっている。今後とも兵庫への誘客に向けPRに力を入れていきたい。

### <シンガポール NATAS への兵庫県ブース出展>

○日 程：2025（R7）年8月15日（金）～17日（日）

○場 所：シンガポール EXPO Hall

○出 展 数：81社・団体

○参 加 者：約10.6万人

（うち、兵庫県ブース 約3千人）



兵庫県ブースの様子